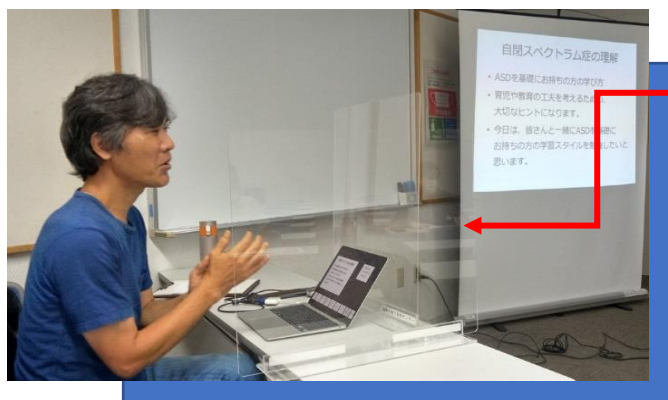


自閉スペクトラム症って何？



岡田 恭典 先生

群馬大学附属病院 小児科 医師

SUN-Tatebayashi 理事長

・・・様々活動されていらっしゃるようです

7月1日(木) 高崎市総合福祉センター
会議室1にて勉強会を行いました。
アクリル板を設置し、換気を行い、
岡田先生の表情を見ながらの勉強会でした。
(先生の顔を見ながら話を聞いていて
表情などから無意識のうちに情報を得て
声の情報にプラスされているんだなあと
痛感しました。)

群馬自閉症協会の地区会、自閉症啓発デーでの
講演など様々なところでお力をお貸し頂いている
岡田先生。

ASDに関する研究や介入教育は日々進歩してい
て、常にアップデートの必要性がありますが、
岡田先生も常にアップデートされ、前回とはまた
ことなる内容もあり、何度聞いても勉強になる。
そして、またASDの応援団として 新たなる挑戦
をしているそうです(就労・地域・農業…)

勉強会の内容

* 発達障害という診断名はない

- ・発達障害というくくりかた
- ・発見可能な時期 発生率
- ・神経発達症
- ・社会不利益の考え方

* ASDの脳の働き方

- ・学習スタイルが違うということ
- ・学習スタイルが違う→行動が違う→どうなる
- ・正しい理解の必要性

* ASDの学習スタイル①

- ・明示的学習者
- ・ASDの人の脳の働き
- ・ASDの情報と取り方
- ・ASD(明示的学習者)への教え方

* ASDの学習スタイル②

- ・視覚的学習者
- ・ASD(視覚的学習者)への教え方
- ・やってみよう
 - 言葉を絵に描いてみよう
 - 言葉を言い換えてみよう

* 支援の量

* 暗黙の了解の難しさ

- ・社会情報を共有する大事さ
 - ツールの1つ
 - ソーシャルストーリーズ™

* 早期発見がなぜ大切か

- * 将来を見据えた考え方
- * 自立
- * トライアングルエフェクト

等々

質疑応答で、岡田先生が

大人の推測や解釈で、子どもについて話し合うのではなく、子どもの行動=事実に着目し、
支援や教育をしている人たちで情報を共有することが大事。

子どもの行動を客観的に文章化することが大事である。ということは何度もおっしゃって
いらっしゃいました。大人の「子どもには幸せになってほしいからこそ**になって欲しい」
という大人の解釈を押しつけて、教育育児をしてはいけないと痛感させられました。